招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成29年2月16日

経理責任者　独立行政法人国立病院機構
南京都病院長　宮野前　健

◎調達機関番号　597　◎所在地番号　26

○第 08702 号（№08702）

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量　検体検査システム一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　平成29年度第３・四半期

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

①　提案機器のうち医療機器については、入札時点で「医薬品医療機器等法」に定められた製造の承認を得ている物品であること。

②　納入時におけるすべてのソフトウェアは使用可能な最新バージョンであること。

③　検体検査部門として当院の運営方針等に基づき診療に貢献できる機能であること。

④　納入機器のメンテナンスにおいて24時間電話対応が可能であること。

⑤　機器修理においておおむね12時間以内の対応が可能であること。

⑥　上位システムとの双方向の通信が可能であること。また測定装置単体での運用が可能であること。

⑦　調達物品と類似する目的の使用しない既存機器がある場合は、各種法令遵守のもと廃棄すること。

⑧　提案機器のディスプレイは日本語表示であること。

⑨　使用説明添付文書・取扱説明書は、日本語表示で２部提出すること。

⑩　提案機器は、１年間修理もしくは点検を無償で行うこと。

⑪　提案機器のトレーニングは、運用開始までに行うこと。

⑫　機器の搬入、据付、配管、配線、調整については、本院の診療業務に支障をきたさないように本院の職員と協議のうえ、その指示に従うこと。

⑬　提案機器の搬入、据付、配管、配線、調整の費用を含むこと。

⑭　臨床化学自動分析装置、血球計数測定装置、血液凝固自動分析装置、臨床化学小型自動分析装置には適切な無停電装置（ＵＰＳ）を設置すること。

⑮　設置にあたり、本院が用意した電源設備（単相100Ｖ、200Ｖ）の一次側設備以外に必要な電源設備、空調設備があれば供給者において用意すること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　平成29年４月４日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒610―0113 京都府城陽市中芦原11　独立行政法人国立病院機構南京都病院　企画課長　磯野　　隆　電話0774―52―0065　内線223

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　平成29年２月16日から平成29年４月４日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

5　Summary

⑴　Classification of the services to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the services to be required : Specimen Inspection System 1 set

⑶　Type of the procurement : Purchase

⑷　Basic requirements of the procurement :

①　the proposing bidding equipment, in which is medical instrument, shall need to meet the manufacturing approved under the law of Pharmaceutical and Medical Device Act when the time of bidding

②　all software needs to be the latest version when delivering

③　need to have the functions, which can contribute to our medical examinations, and which meets our hospital basic management plans for a laboratory testing department

④　the maintenance for delivering devices are possible to be supported, for 24 hours a day, by telephone communication

⑤　proposing equipment needs to be corresponded for the repairing, roughly within 12 hours

⑥　bidirectional communication with a host system is possible, and that single operation by its own device is also available

⑦　the existing devices, which is used for similar testing purpose, shall be disposed under the individual Japanese legal compliances

⑧　the used language for the proposing devices are displayed in Japanese Language

⑨　submit 2 copies of instruction manual and attachments in Japanese indication

⑩　proposing equipment shall be repaired for free of charge within 1 year after the delivery

⑪　the operating training shall be done before the actual operation

⑫　the installation, retrofit, ductwork, wiring, and adjustments shall be counseled together with the hospital staff and follow the directions of the hospital staff, which shall not trouble the daily medical examination work

⑬　the installation, retrofit, ductwork, wiring, and may include the fees for installation, retrofit, ductwork, wiring and adjustments

⑭　clinical chemistry automation analysis devices, blood cell counter, blood coagulation automated devices and compact clinical chemistry automated devices shall set with the appropriate UPS devices

⑮　supplier supplies the necessary power-supply system and air conditioning unit when prepared primary power supply (single phase 100Ｖ, 200Ｖ) by the hospital is not sufficient

⑸　Time-limit for the submission of the requested material : 5 : 00 P.M. April 4, 2017

⑹　Contact point for the notice : Takashi Isono, Director, Accounting Division, National Hospital Organization Minami Kyoto National Hospital, 11 Nakaashihara Joyo-shi Kyoto-fu 610―0113, Japan TEL 0774―52―0065 ext. 223

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成29年2月16日

国立大学法人電気通信大学理事　児玉　　孝

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　13

○第１号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14、27

⑵　導入計画物品及び数量　情報基盤システム一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　平成29年度３月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　本システムは、本学の教職員・学生が行う研究を推進するにあたって十分な性能、利用環境、資源を有すること。

B　本システムは、情報基盤センター、情報学専攻、情報・ネットワーク工学専攻、実験実習支援センター、ｅ―ラーニング推進センター、実践的コミュニケーション教育推進室、図書館、事務局に円滑なシステム管理・運用業務環境を提供すること。

C　本システムは、本学の学生に対する情報処理教育の環境を提供すること。

D　本システムは、高性能、高信頼性の学内バックボーンを構成すること。

E　本システムは、システムの利用・運用に必要なマニュアル、文書等を備えること。

F　供給者は、本システムの障害に対して迅速な保守体制をとること。